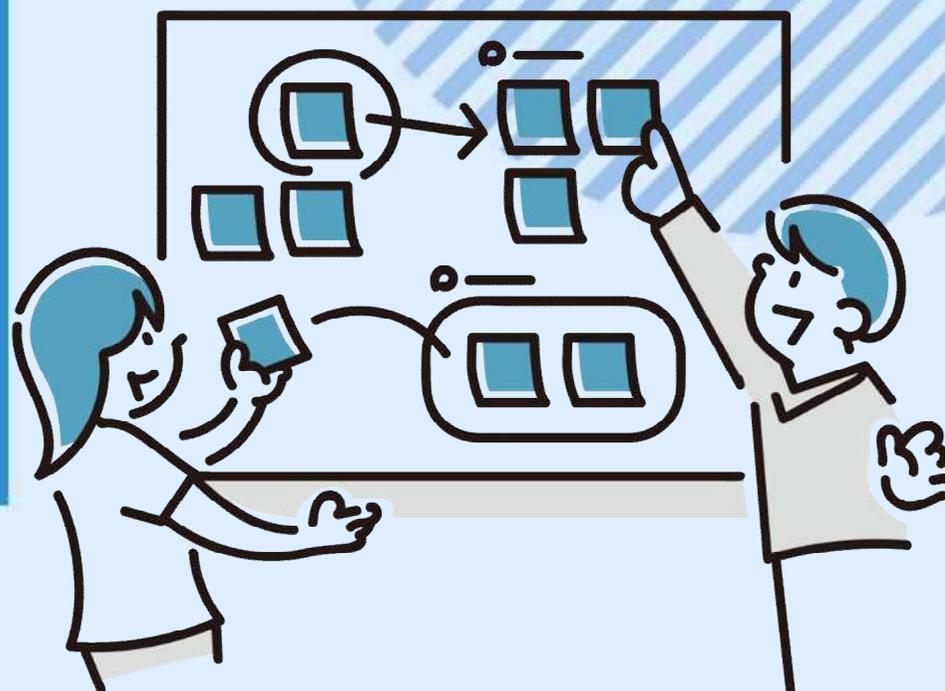


青梅総合高校 生徒会

青梅市改善計画

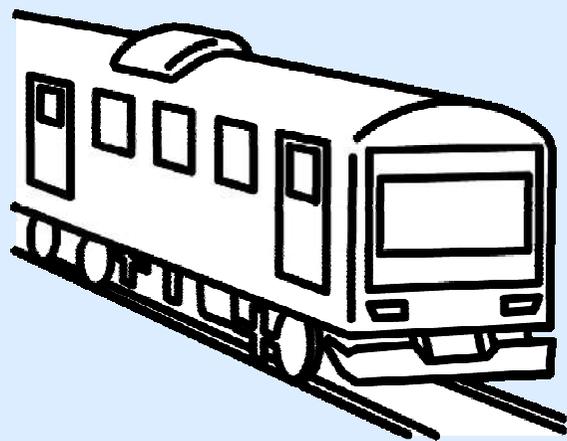
2024年 12月10日



目次



- 01 青梅駅周辺の発展
- 02 バス移動に関して
- 03 交通網について
- 04 東青梅駅の発展
- 05 人口増加計画
- 06 青総生との交流
- 07 勉強場所に関して



01

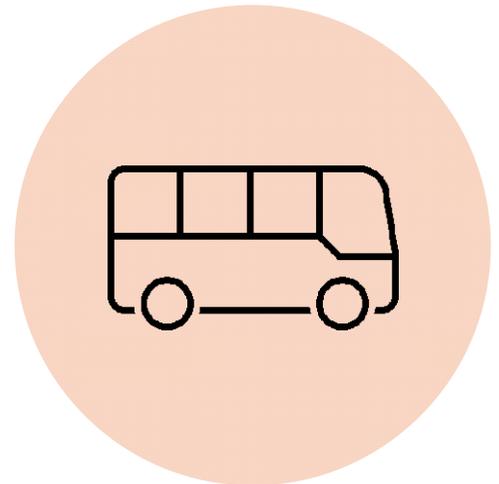
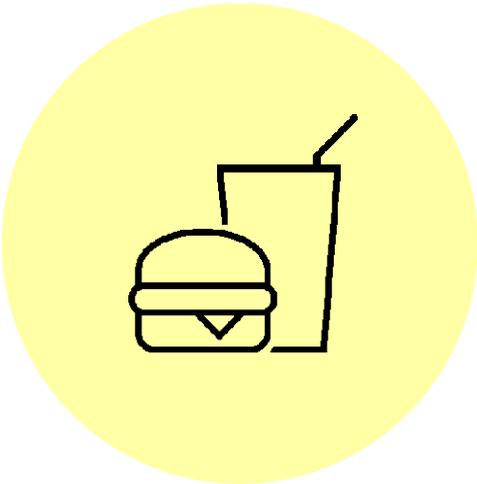
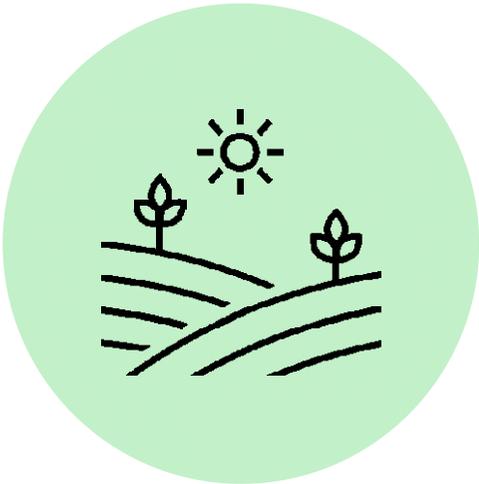
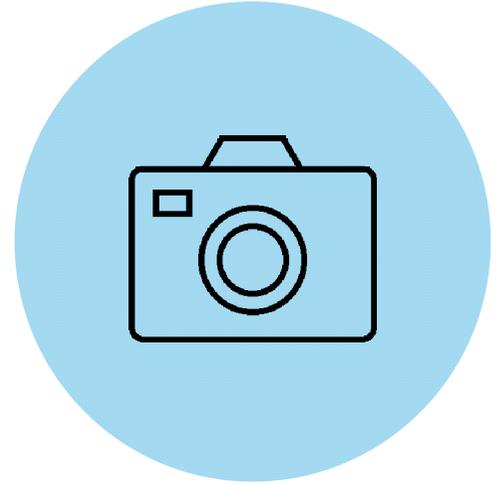
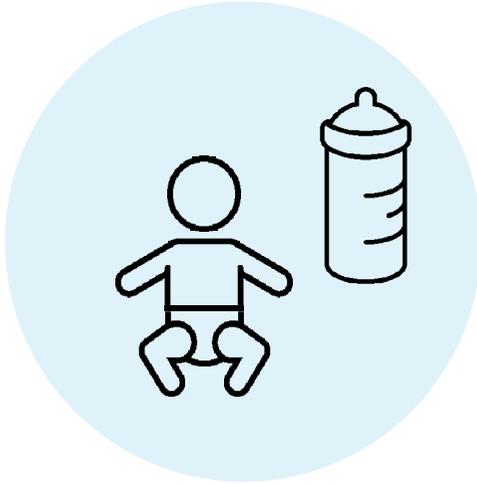
青梅駅周辺の発展

現在の青梅駅周辺



理想とする駅周辺とは？





年間スケジュールを考えよう!

令和6年5月11日(土)、新たな文化複合施設を考える市民ワークショップの第2回が開催されました。本日集まった参加者は35名。初回に引き続き、高校生からベテラン世代まで幅広い世代の方にお集まりいただきました。今回のテーマは「新施設でやりたいこと・やってほしいこと」前回の「青梅のまちじまん・文化じまん」で出てきた意見をふまえて、青梅らしさが活かせる取り組みは何か、市民が観たい・聴きたい・参加したいイベントは何か、施設のプロデューサーになった気持ちで年間イベントスケジュールを考えました。

そして! 皆さんからアイデアを出してもらった本誌のタイトルが『おうめじまん』に決定しました! 活気を帯びた様子をこの『おうめじまん』を通じて、多くの方々にお届けします!



ワークショップを行い市民の意見を反映させる

参加者の声

- 前回からの複合施設への案が今回で具体的になったと感じました。できるのが楽しみです、色々な人の案が聞けて楽しかったです!
- 色々な立場の方の意見(この機会がなければ知らなかったかも)少しでも新しい施設に反映されるように。
- 複合施設での催しイベント運営には、市民参加の運営委員会が出来ると思います。多世代向け、障害者向けのイベントも、たくさんあるといいと思います。
- 各町の発表のなかにキラリと光る企画が見つかり楽しかった。



発行：青梅市教育委員会生涯学習部
文化複合施設等整備担当
編集：(株)シアターワークショップ

どんな機能が必要?

令和6年6月9日(土)、新たな文化複合施設を考える市民ワークショップの第3回が開催されました。今回のテーマは「やりたいこと・やってほしいことを実現するために必要な施設機能」です。

これまで「こんな施設になったらいいなあ」といった、おぼろげなイメージを共有してきましたが、今回は「そのためにはどんな設備やスペースが必要か?」「どういう設備があったら使いやすい?」など、ハードの観点でより具体的な内容を考えました。

ワークショップの前編では、ファシリテーターより国産の先端事例を写真とともに紹介し、皆さんと施設イメージを共有しました。他施設の良いポイントはどこを参考したいけどやっぱり青梅ならではの、青梅にしかないポイントをつくりたい! 参加者の皆さんからはそんな熱い思いが伝わってきました。

今回はどのような意見・アイデアが出てきたのでしょうか…?



日常と非日常の場に!

「やりたいこと・やってほしいことを実現するために必要な施設機能」

参加人数は31名。発表タイムでの決めポーズ撮影会が盛り上がり、多くの方が笑顔で参加してくださいました。さて、今回も施設イメージの意見をいただきました。全グループ共通して多かったのは、「カフェ」「飲食機能」「子どもの遊び場」「学習スペース」「音楽スタジオ」などです。文化活動をしている人もそうでない人もいろいろな目的で利用できることが重要視されていました。

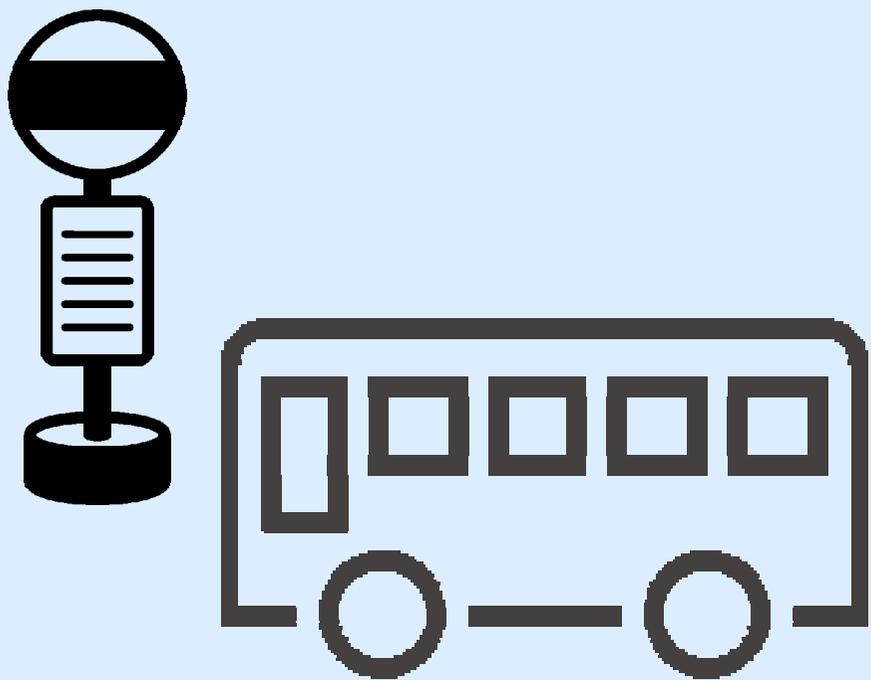
ホールについては、「音響設備に配慮したホール」「ゆったりとした開放」「青梅の特色を活かした施設」といった意見が挙がっていました。日常的な活動の場であると同時に、青梅市民にとっての「しず」の場としての機能を持つことも大切ですね。大規模なセンターとの複合化を活かし、青梅に暮らす子どもが文化芸術を身近に感じられるような場所をつくりたいと思います!

参加者の声

- 新しい文化施設が広く市民交流の場になることを、多くの参加者の共通の願いであることが明確になったように感じました。
- 各チームも発表スタイルがモシロかったり、上手になってきて聞いていて楽しかった。
- 施設内容についてじっくり皆さんと話しあえて充実した時間を過ごせました。有難うございました。
- たくさん意見が聞けて楽しかったです。若者のスペースが今よりもっと増えたらと思います。



発行：青梅市教育委員会生涯学習部
文化複合施設等整備担当
編集：(株)シアターワークショップ



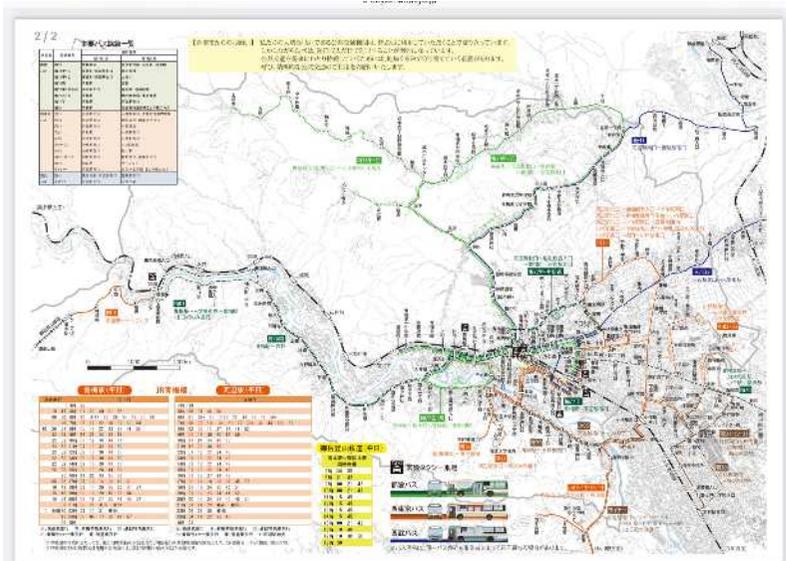
02

バス移動に関して

バス移動に関して

問題点

- ・ バス路線の経営状況の認識不足
- ・ バス路線の分かりづらさ



分かりずらさ



・見にくい

・いらぬ情報が多い

バス路線図 (2023年12月1日現在)

この路線図は2023年12月1日時点の情報を基に、区内の主なバス路線について作成しています。

- ※以下の路線はすべて東急バスの運行
- ※△印: 片方向停車 (同じ道路を運行し、片方向のバス(△印の進行方向のバス)のみ停車)
- ※▽印: 矢印と同色の路線は矢印方向のみ運行/反対方向は別道路運行
- ※目黒区外のバス停は一部のみ表示



バス乗降は変更になることがあります。詳しくは東急バスへお問い合わせください。

解決策

- 情報が簡潔
- どこに止まるか分かりやすい
- スマホで見やすい

認識不足



最寄りのバス
停はどこなん
だろう？

これに乗った
らどこに行く
んだろう？

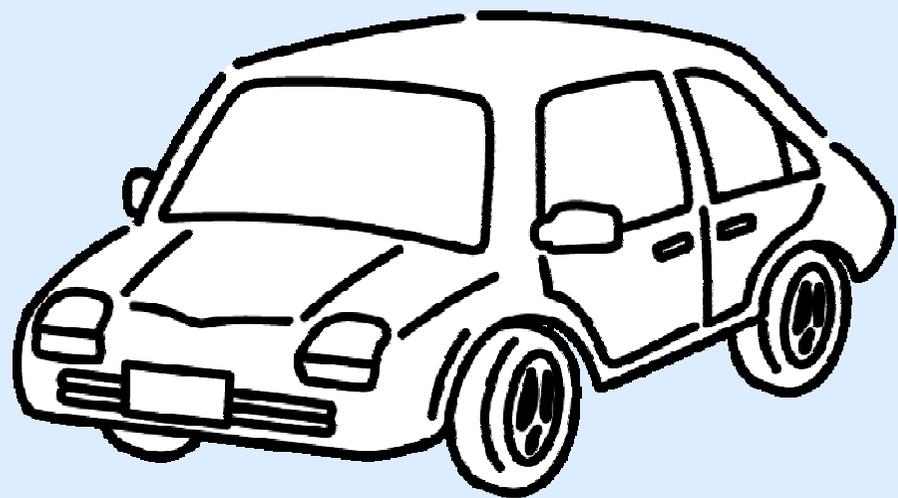
解決策

- ・ バス停スタンプラリー



自らバス停を調べたくなるような工夫

- ・ ネットでの呼びかけ



03

青梅市の交通

問題点

交通が不便だと思ふことがある

- ・ 道路が狭い
- ・ でこぼこしている
- ・ 入り組んでいてわからない
- ・ 街灯が少なくて暗い

解決法

道路の改修、拡張、再編

都道を中心に再編（そのポイント）

- ・ 奥多摩まで繋がる
- ・ ドライブが楽しい
- ・ 青梅の観光スポットに行きやすい



04

東青梅駅の発展

01

駅を使いやすくする

現状

ホームが混雑する



東青梅駅から来る人が
降りて来れない



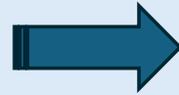
改札で詰まってしまう



電車を使う人の
迷惑になる

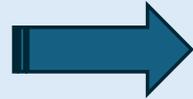
改善策

●ホームを広くする



混雑緩和

●反対側に階段を作る



スムーズに改札へ行ける

●改札の数を増やす

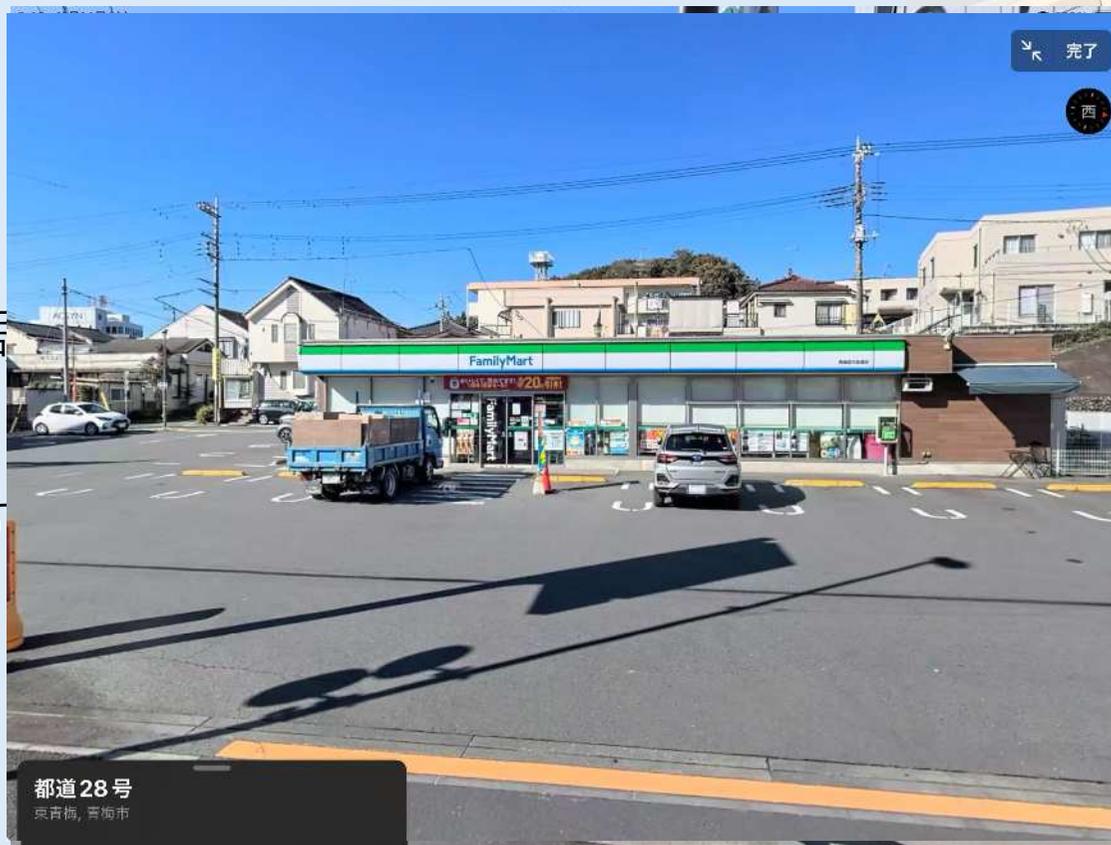


階段で詰まらない

02

コンビニを増やす

- 東青梅駅周辺
- 買い物をす



改善策

- 駅から出てすぐの所作る  寄りやすい
- 学校への通り道に作る  ご飯を忘れても買うことができる



05

青梅市人口増加計画

青梅市の人口について

- 平成20年から→減少

平成26年

	総数	男	女
0～14	16,599	8,539	8,060
割合	12.09%	12.43%	11.76%
15～64	85,194	44,424	40,770
割合	62.07%	64.64%	59.49%
65～	35,457	15,759	19,698
割合	25.83%	22.93%	28.74%
計	137,250	68,722	68,528
	100%	100%	100%

令和6年

	総数	男	女
0～14	11,969	6,178	5,791
割合	9.26%	9.49%	9.02%
15～64	75,594	39,980	35,614
割合	58.49%	61.45%	55.50%
65～	41,678	18,908	22,770
割合	32.25%	29.06%	35.48%
計	129,241	65,066	64,175
	100%	100%	100%

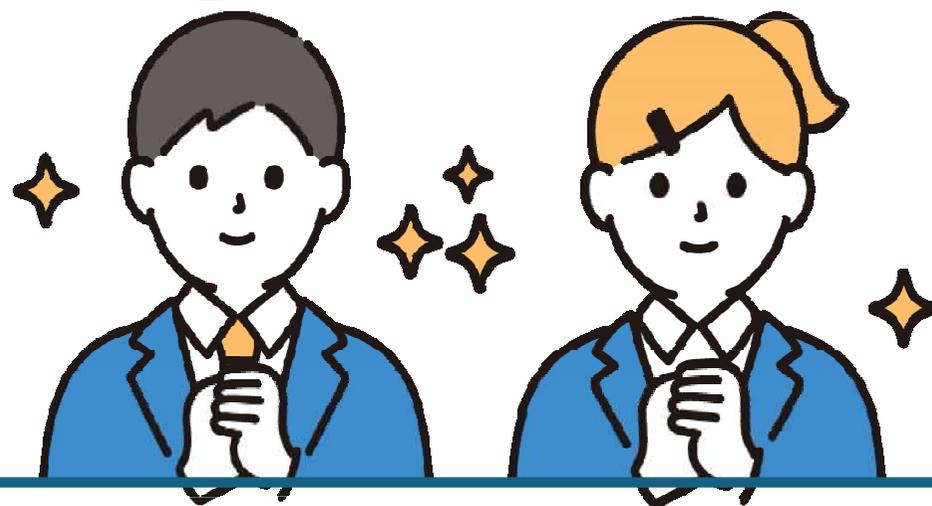
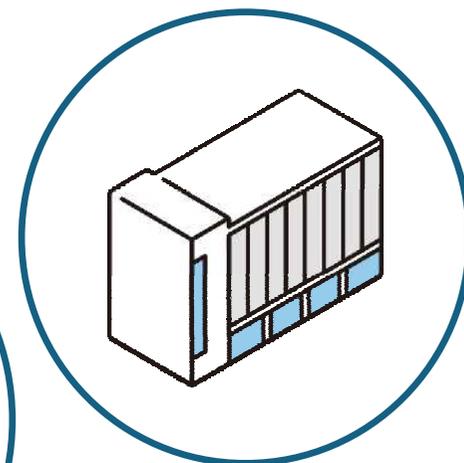
他の町

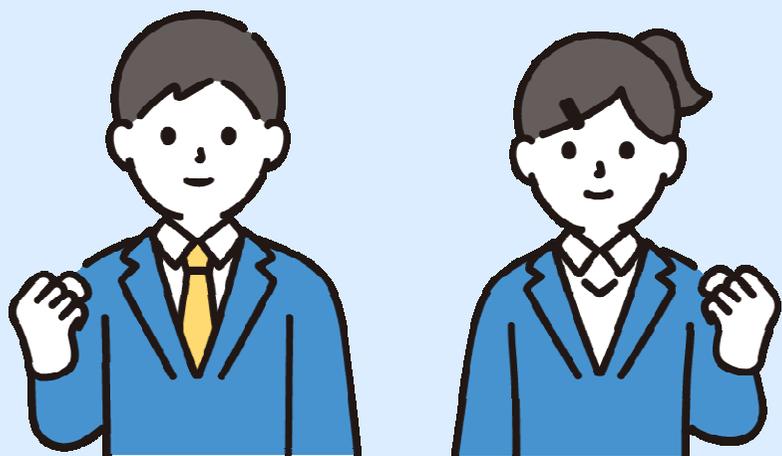
- ・ 町が求める職の人材を誘致【**神山町**】
- ・ 伝統工業のブランド化
+
若者向けの施設づくり【**鯖江市**】
- ・ 作物の栽培に特化【**川上村**】



解決案

- 昔の家をリノベーション
- 若者向けの施設づくり
- 伝統工芸中心のお祭り





06

青総生との交流

目的

- ★青梅の人々と交流を深める
- ★地元の人々の課題を聞く
- ★青梅の歴史を知る

年代による様々なイベント

小学生



親子カルチャー教室

中学生



交流ボランティア

シニア



eスポーツ



07

勉強場所に関して

勉強場所が少ない

【悩み】

- ◆遅くまで使える場所がない。
- ◆教え合いの場がない。

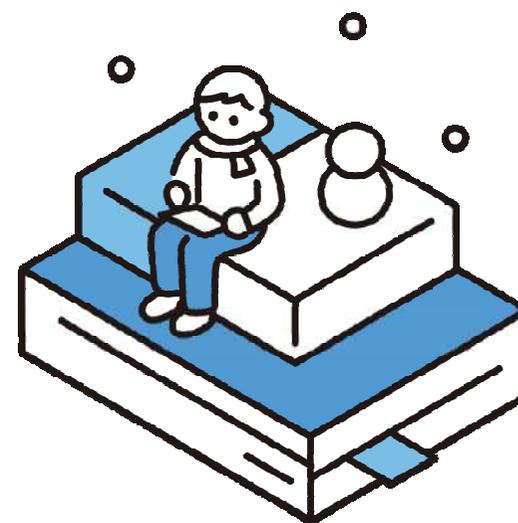


【現状】

- 館内で話せない
- 17時で閉館する図書館が多い
- 図書館以外に勉強できる場所がない

【改善提案】

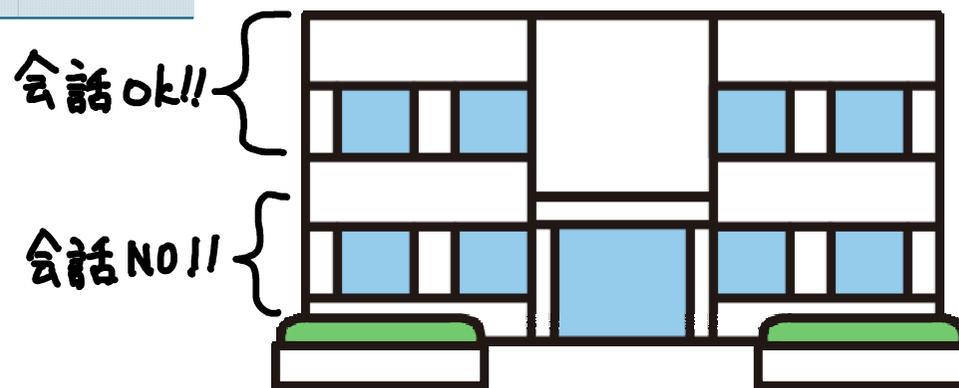
- 図書館の開館時間を変更する。
- 図書館内に話せる場所を設ける。



【具体例】

- 12時から開館して20時に閉館する曜日を作る。
- 階を分けたり部屋を分けたりする。

月	火	水	木	金	土	日
12~20	9~17	12~20	9~17	12~20	9~17	9~17



今日の意見をご検討いただけますと幸いです
貴重な機会をありがとうございました

